

佐世保市子ども・子育て 支援に関するアンケート 調査結果概要資料

子ども・子育て支援に関するアンケート調査（ニーズ調査）
子どもと子育てに関する市民意識調査（web 調査）
放課後児童クラブに関するアンケート調査

目 次

■佐世保市の子育て全般に関して		P. 1
■プラン骨子案の各施策に関して		P. 2
1. 母子保健の推進と安心な育児環境の充実について		
2. 地域での子どもと子育ての支援について		
3. 幼児教育・保育の充実について		
4. 包括的サポート(情報発信)について		
■各施策を横断する主な課題について		P. 21

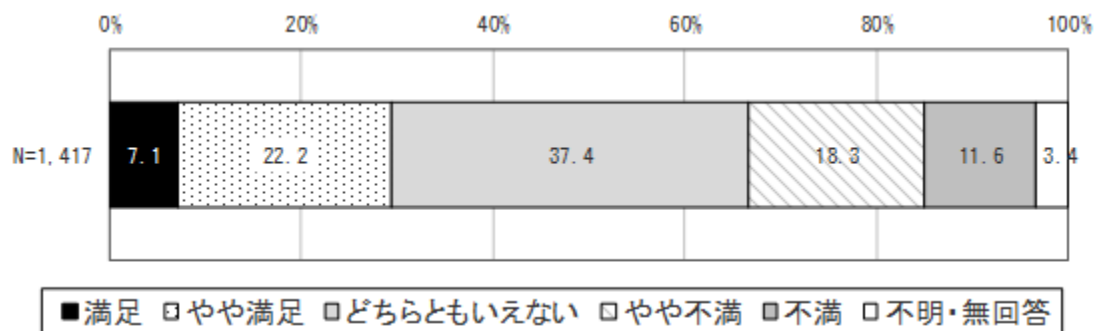


■ 佐世保市の子育て全般に関して

①子育てや、子育て支援に関する満足度・満足感

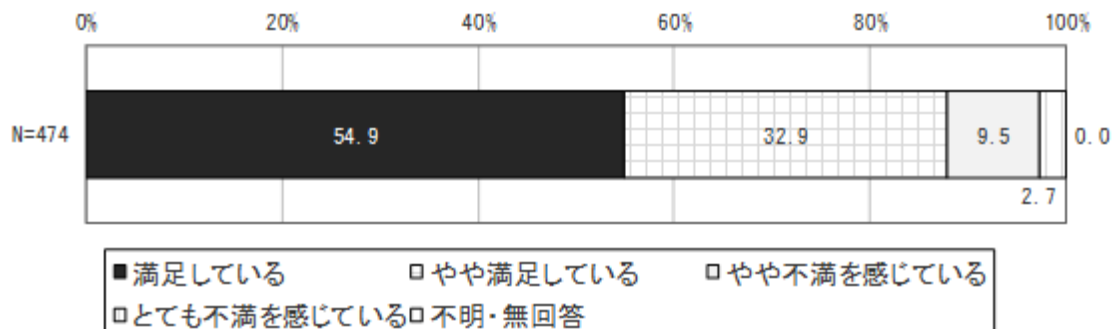
佐世保市における子育ての環境や支援への満足度をみると、「満足」と「やや満足」の割合の合計は29.3%となっています。また、今、子育てをしていることに対する満足感をみると、「満足している」と「やや満足している」の割合の合計は87.8%となっています。

○佐世保市における子育ての環境や支援に全体的に満足しているか



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

○今、子育てをしていることに対する満足感はどうか

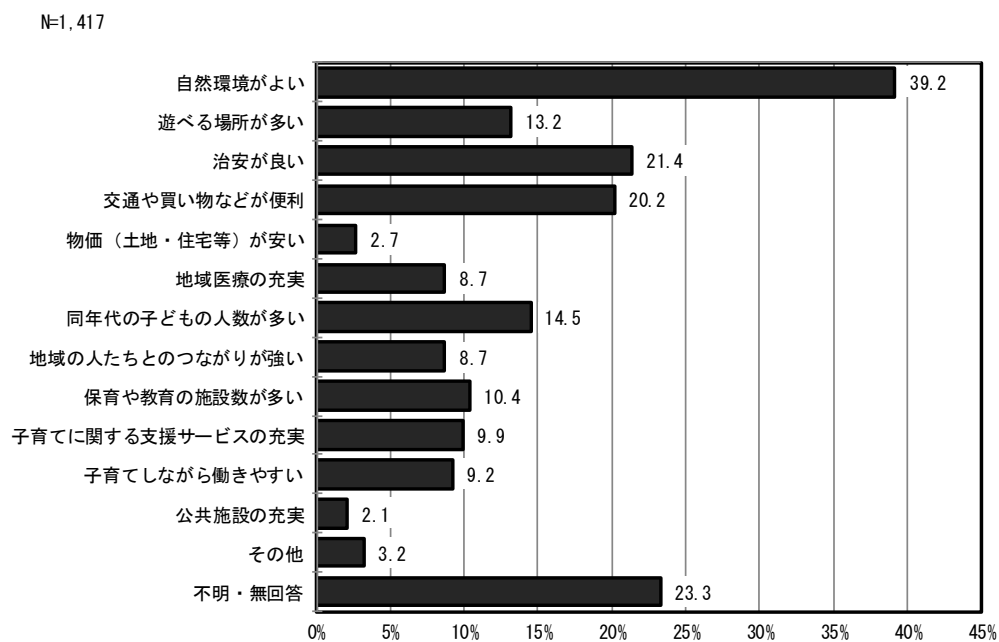


資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

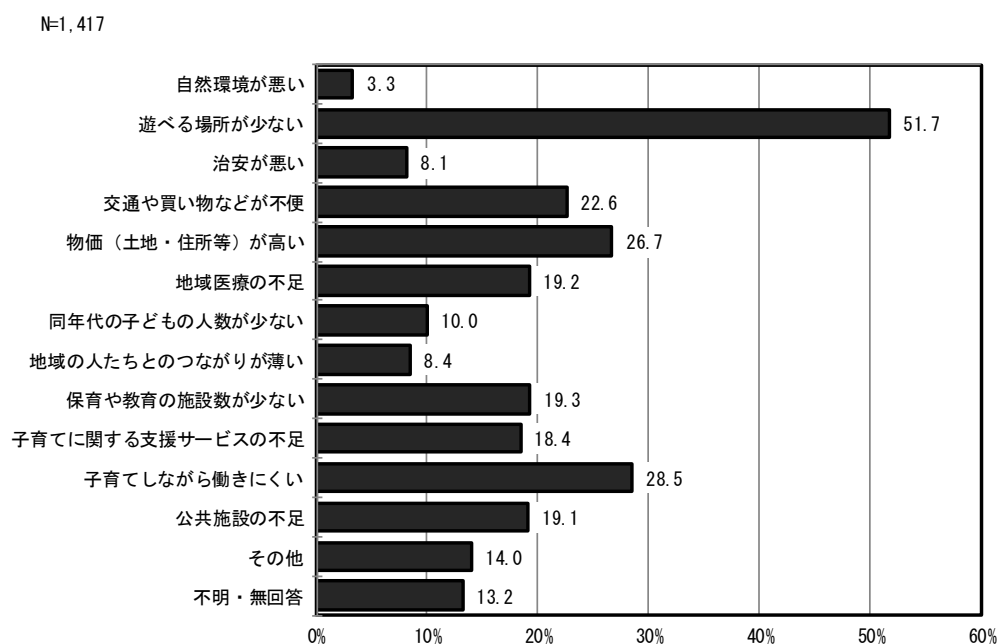
②佐世保市における子育ての環境や支援について「満足している点」、「不満と 思っている点」

「満足している点」についてみると、「自然環境がよい」が 39.2%で最も高くなっています。次いで「治安が良い」が 21.4%、「交通や買い物などが便利」が 20.2%で続いています。「不満と
思っている点」についてみると、「遊べる場所が少ない」が 51.7%を占めています。「子育てしながら働きにくい」が 28.5%、「物価(土地・住所等)が高い」が 26.7%で続いています。

○満足している点



○不満と 思っている点



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

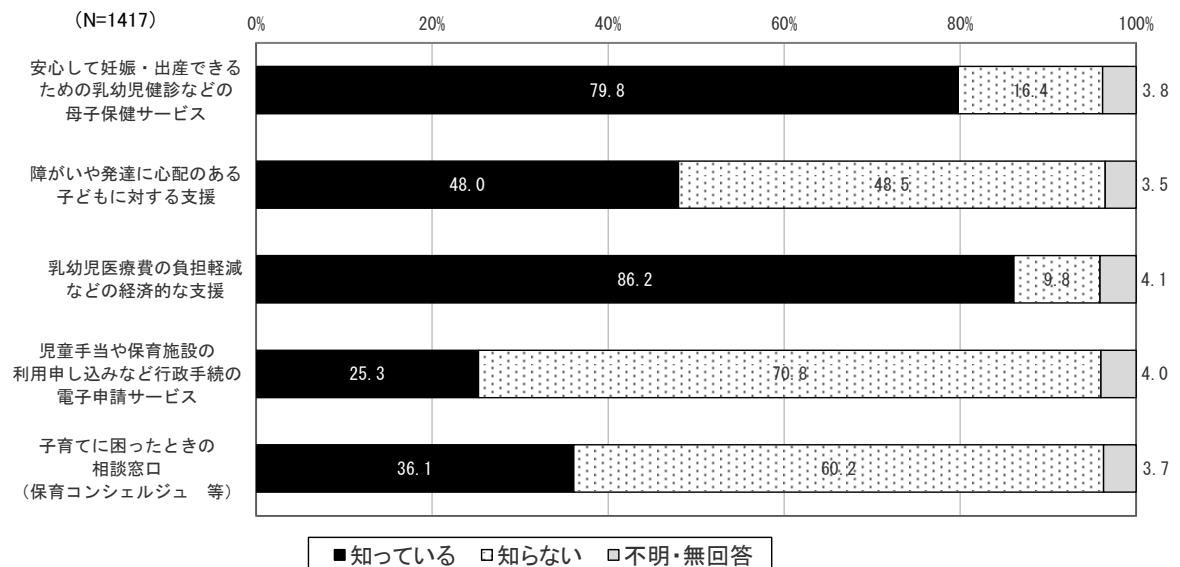
■プラン骨子案の各施策に関して

1 母子保健の推進と安心な育児環境の充実について

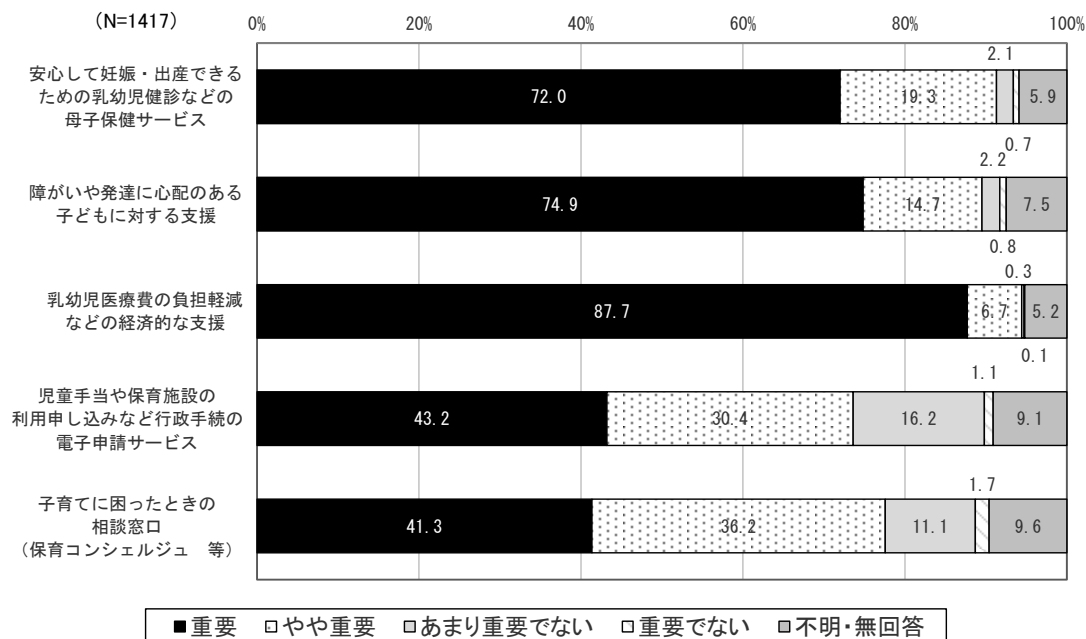
①母子保健・育児環境に関する佐世保市の取り組みの 認知度・重要度・満足度

認知度についてみると、「児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス」、「子育てに困ったときの相談窓口（保育コンシェルジュ 等）」において「知っている」の割合が低くなっています。重要度についてみると、「乳幼児医療費の負担軽減などの経済的な支援」において「重要」の割合が特に高くなっています。満足度についてみると、「児童手当や保育施設の利用申し込みなど行政手続の電子申請サービス」、「子育てに困ったときの相談窓口（保育コンシェルジュ 等）」において「満足」の割合が低くっており、「乳幼児医療費の負担軽減などの経済的な支援」において「不満」の割合が最も高くなっています。

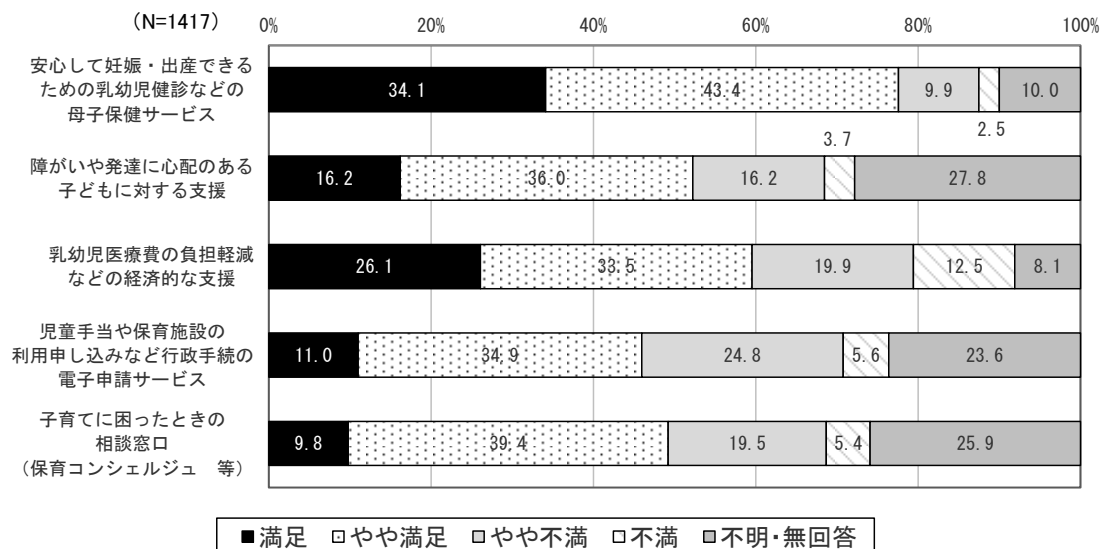
○認知度



○重要度



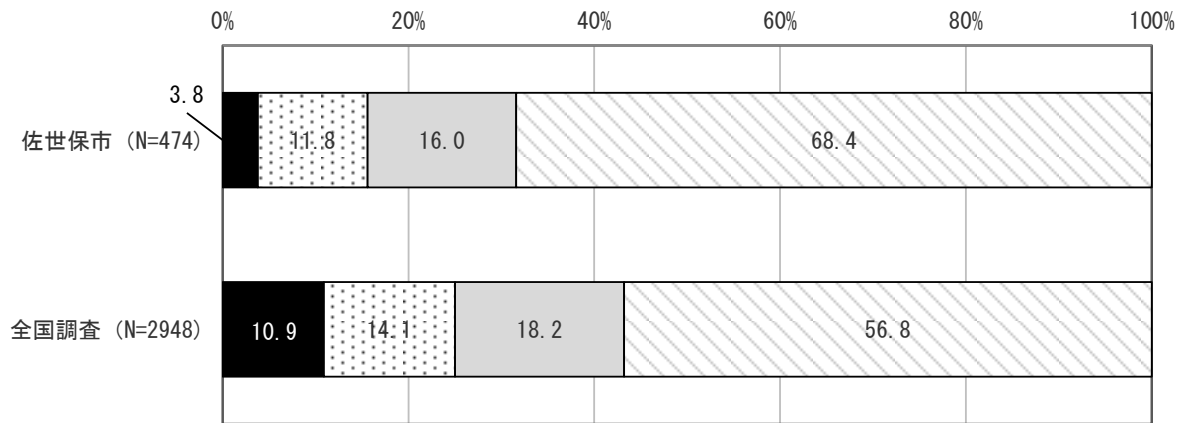
○満足度



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

②1 人目のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じましたか。

全国調査では、「ためらいを感じなかった」が 56.8%と最も高く、「あまりためらいを感じなかった」が 18.2%、「ややためらいを感じた」が 14.1%と続いています。佐世保市では、「ためらいを感じなかった」が 68.4%と最も高く、「あまりためらいを感じなかった」が 16.0%、「ややためらいを感じた」が 11.8%と続いています。「ためらいを感じなかった」割合は、全国調査より佐世保市が高くなっています。



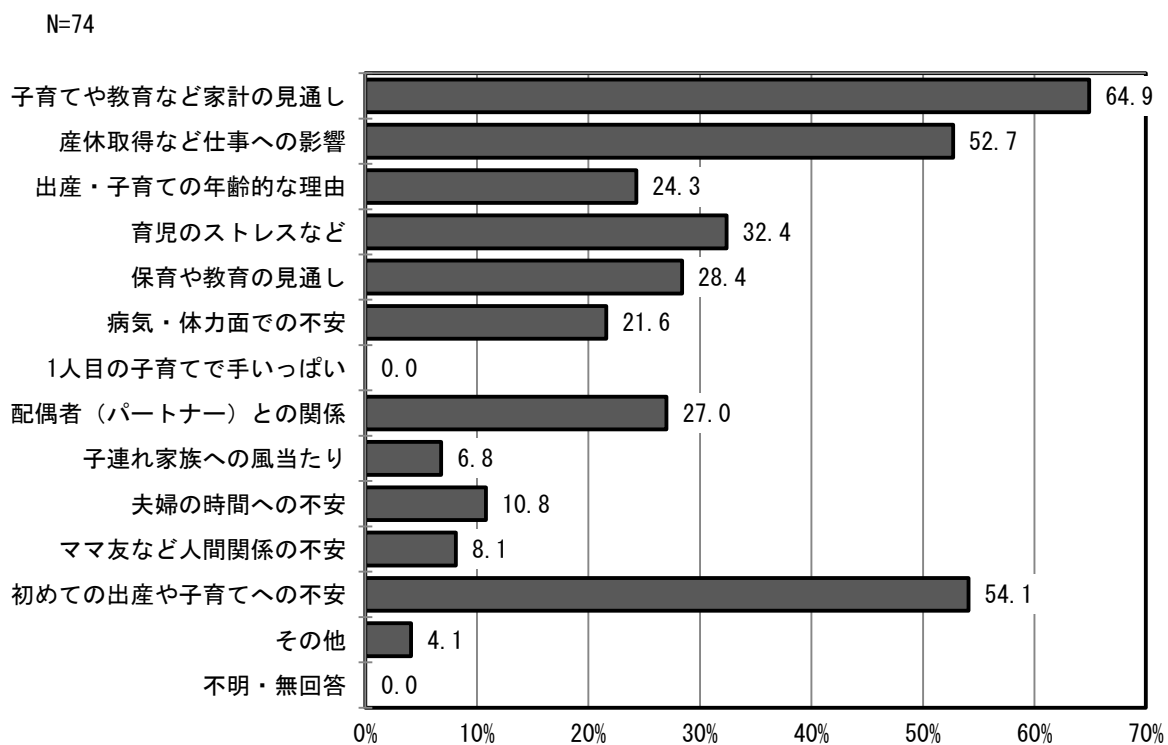
- ためらいを感じる(感じた)、あるいは、感じそう
- ややためらいを感じる(感じた)、あるいは、やや感じそう
- あまりためらいを感じない(感じなかった)、あるいは、あまり感じなさそう
- ためらいを感じない(感じなかった)、あるいは、感じなさそう

資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

③1人目のお子さんを持つことにためらいを感じる理由は何か

1人目の子どもを持つ際にためらいを感じる理由として、「子育てや教育など家計の見通し」の経済的な理由によるものが64.9%と最も高くなっています。その次にためらいを感じる理由として、「初めての出産や子育てへの不安」が54.1%、「産休取得など仕事への影響」が52.7%となっています。

(※当てはまるものすべて回答)

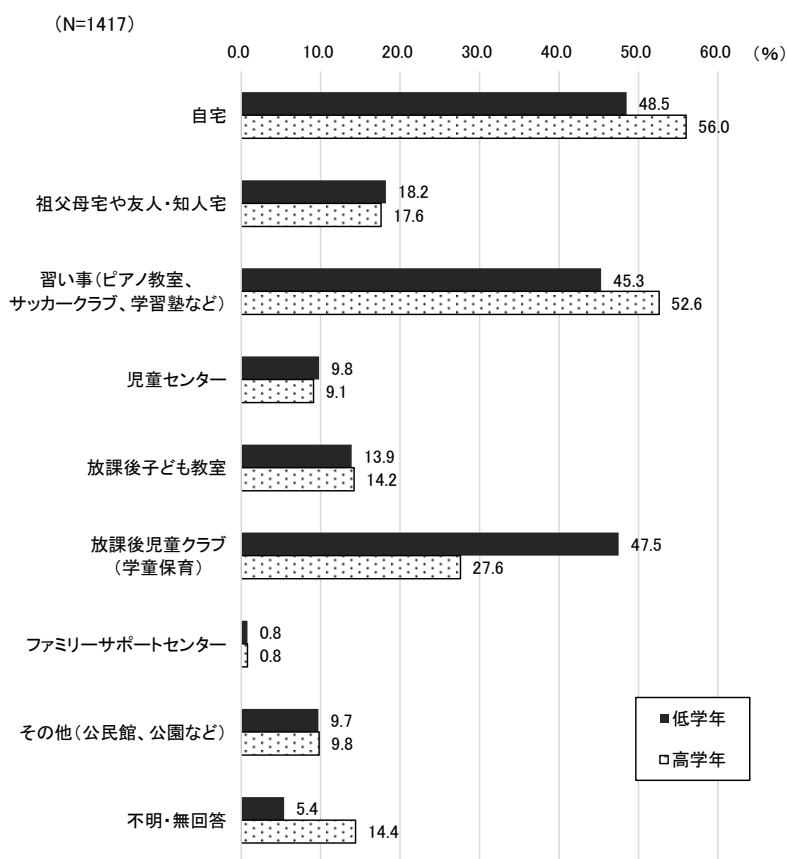


資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

2 地域での子どもと子育ての支援について

①お子さんが小学校に入ったら、放課後をどこで過ごさせたいか

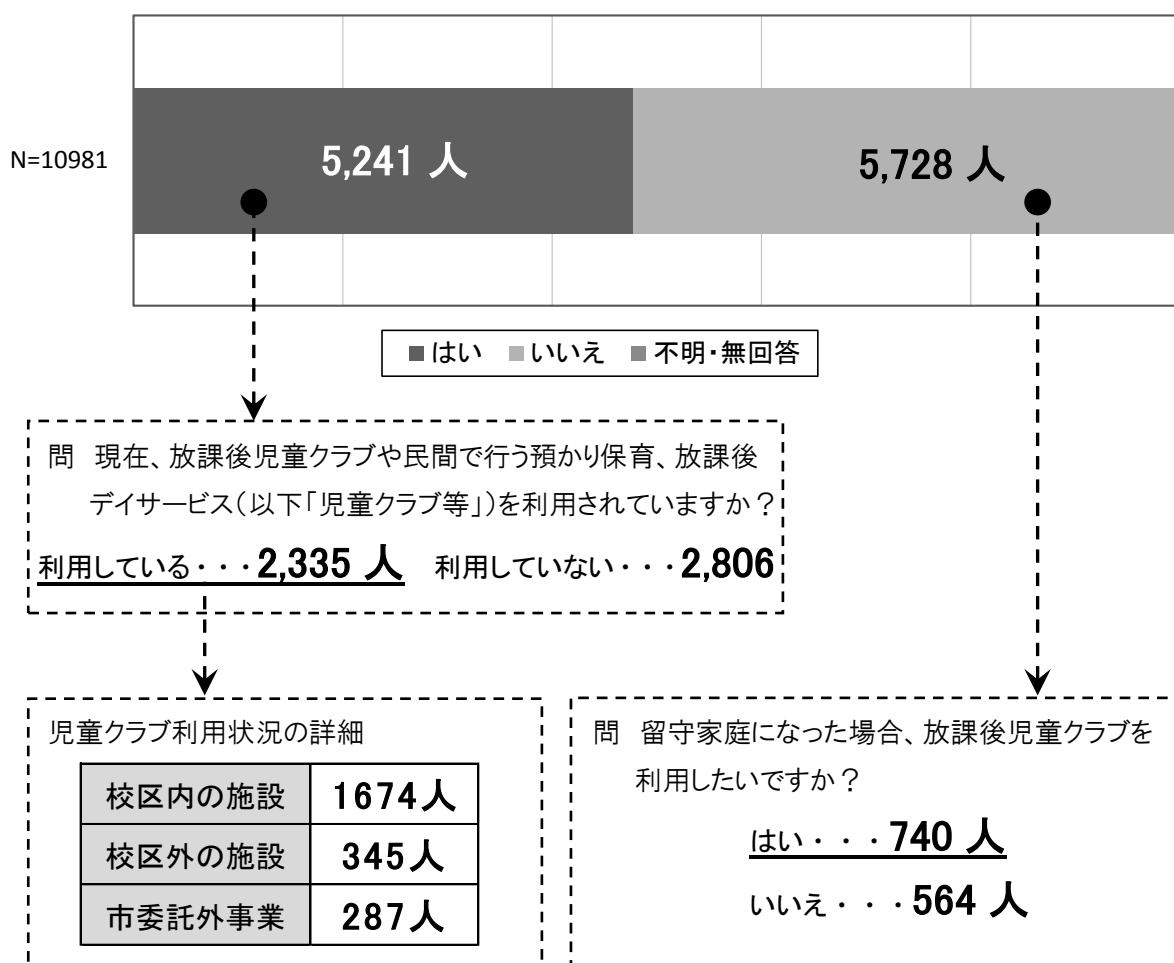
未就学児児童保護者に聞いた、お子さんを低学年のうちに過ごさせたい場所としては、「自宅」が48.5%と最も高くなっています。次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が47.5%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が45.3%となっています。お子さんを高学年のうちに過ごさせたい場所としては、「自宅」が56.0%と最も高くなっています。次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が52.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が27.6%となっています。



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

②放課後児童クラブの利用状況について

問 ご自宅は留守家庭ですか？



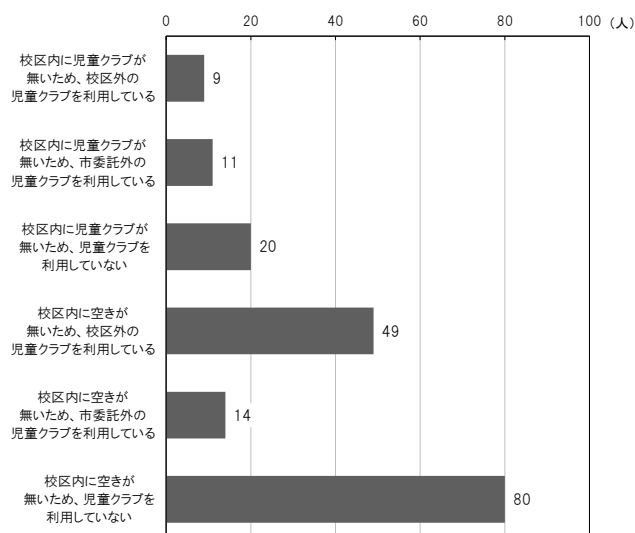
資料：放課後児童クラブに関するアンケート結果

留守家庭であると答えた 5241 人のうち、児童クラブを利用している人は 2335 人となっています。また、利用している人のうち、校区内の児童クラブを利用している人は 1674 人、校区外の児童クラブを利用している人は 345 人、市委託外事業を利用している人は 287 人となっています。

留守家庭ではないと答えた 5728 人のうち、留守家庭になった場合に放課後児童クラブ利用を希望している人は 740 人となっています。

③校区内の児童クラブを利用していない方の詳細

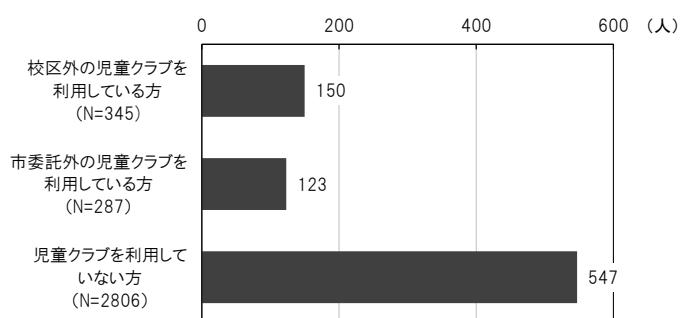
「校区内に児童クラブが設置されていない」もしくは「校区内の児童クラブに空きがない」という理由で校区内の児童クラブを利用していない方について、最も多くなっているのが「校区内に空きが無いため、児童クラブを利用していない」で80人、次いで「校区内に空きが無いため、校区外の児童クラブを利用している」が49人、「校区内に児童クラブが無いため、児童クラブを利用していない」が20人と多くなっています。



資料：放課後児童クラブに関するアンケート結果

④校区内に放課後児童クラブが新設された場合、利用を希望する方

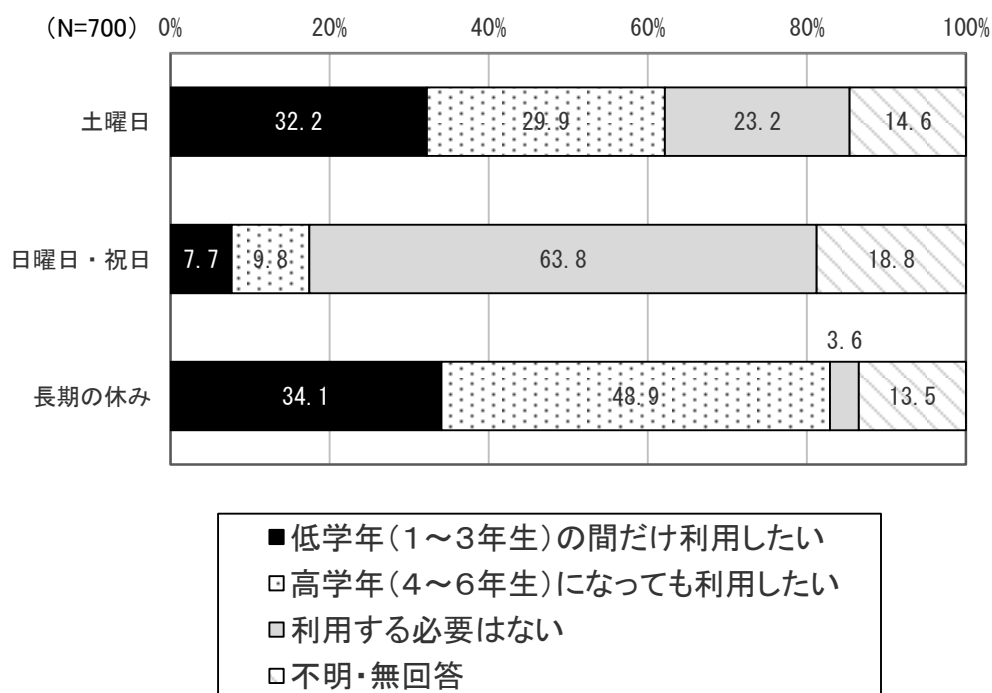
校区内に放課後児童クラブが新設された場合利用したい方は、現在校区外の児童クラブを利用している方のうち 150 人、現在市委託外の児童クラブを利用している方のうち 123 人、現在児童クラブを利用していない方のうち 547 人となっています。



資料：放課後児童クラブに関するアンケート結果

⑤土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブ利用希望について

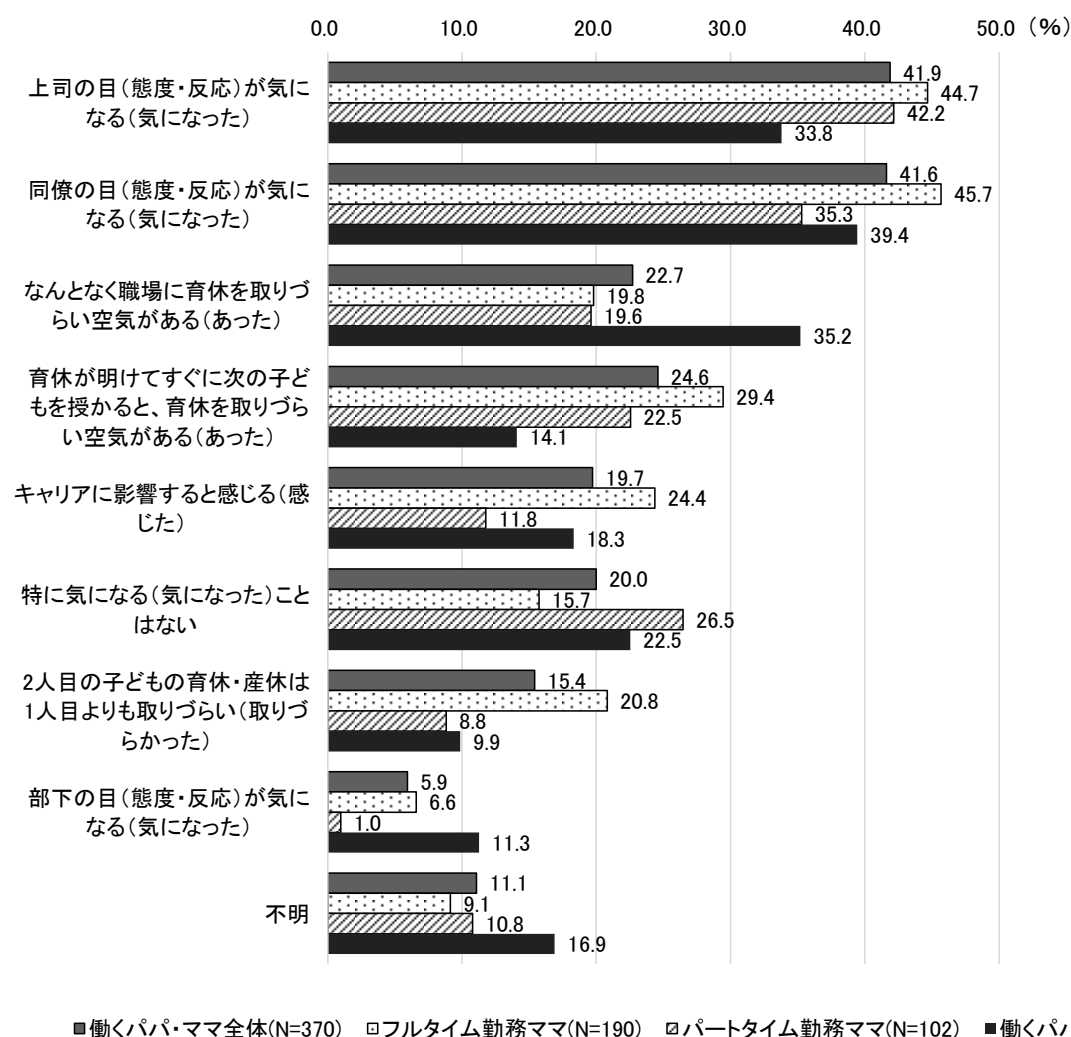
土曜日の利用希望をみると、「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が 32.2%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 29.9%となっています。日曜日・祝日の利用希望をみると、「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が 7.7%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 9.8%となっています。長期の休みでの利用希望をみると、「低学年(1～3年生)の間だけ利用したい」が 34.1%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 48.9%となっています。



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

⑥育休取得で気になること

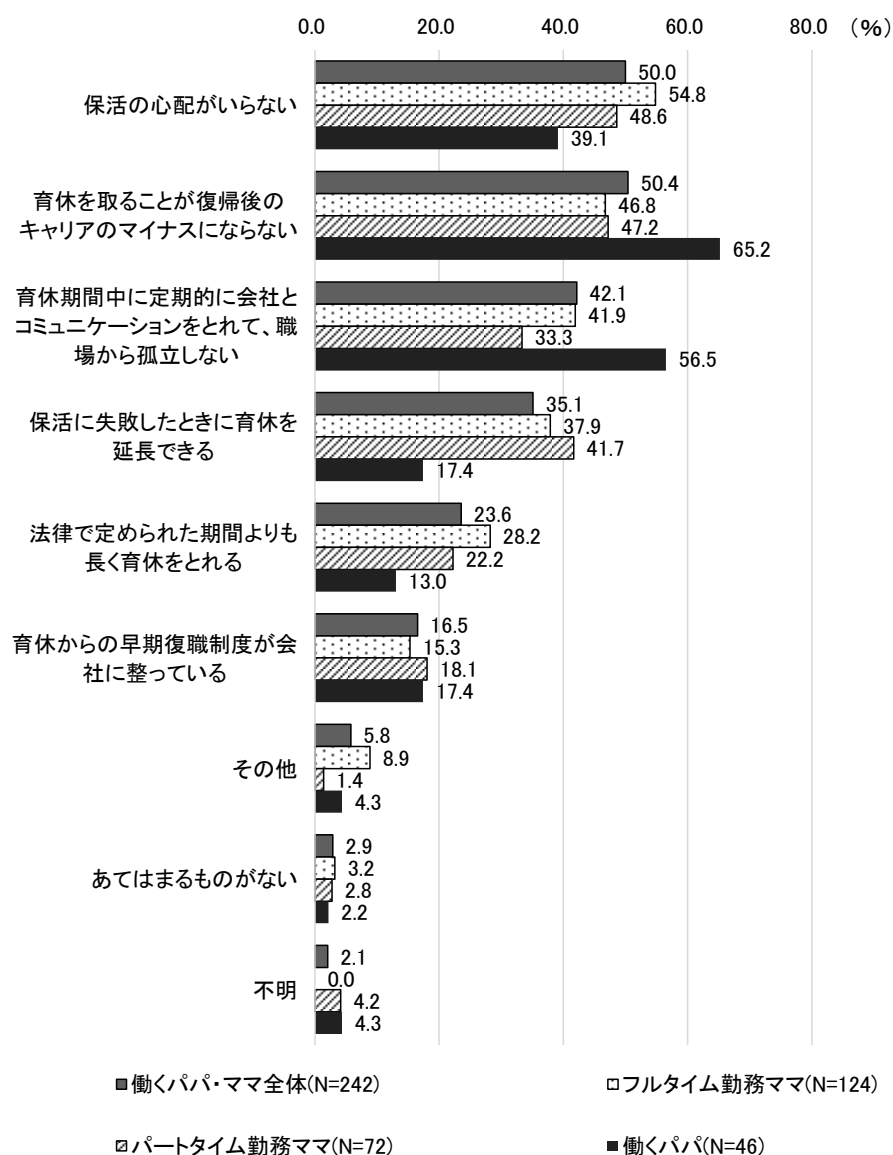
ママ・パパの就労状況別にみると、「フルタイム勤務ママ」では、「上司の目(態度・反応)が気になる(気になった)」が44.7%、「同僚の目(態度・反応)が気になる(気になった)」が45.7%、「育休が明けてすぐに次の子どもを授かると、育休を取りづらい空気がある(あった)」が29.4%、「キャリアに影響すると感じる(感じた)」が24.4%、「2人目の子どもの育休・産休は1人目よりも取りづらい(取りづらかった)」が20.8%で他のママや働くパパより高くなっています。「パートタイム勤務ママ」では、「特に気になる(気になった)ことはない」が26.5%で他のママや働くパパより高くなっています。「働くパパ」では、「なんとなく職場に育休を取りづらい空気がある(あった)」が35.2%でママより高くなっています。



資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

⑦育休取得時の理想の条件

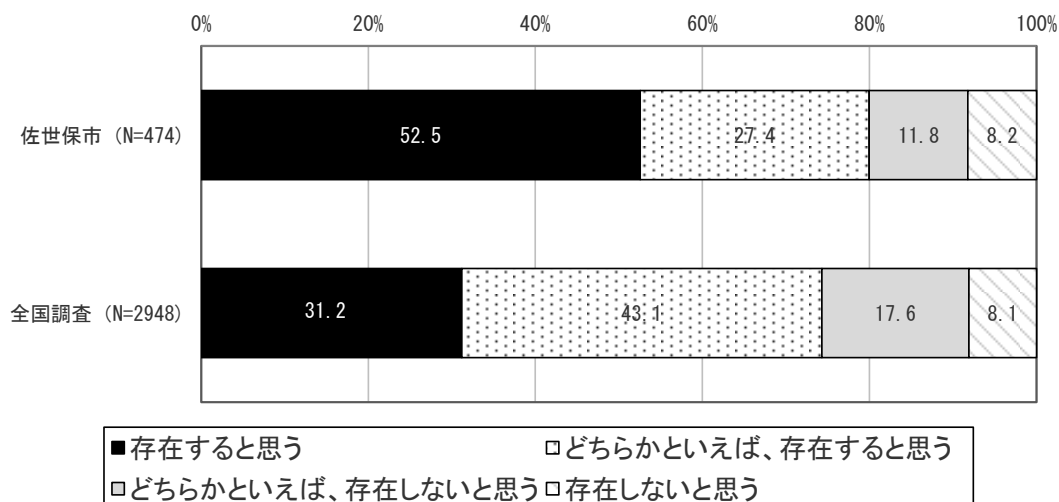
ママ・パパの就労状況別にみると、「フルタイム勤務ママ」では、「保活の心配がいらぬい」が54.8%、「法律で定められた期間よりも長く育休をとれる」が28.2%で他のママや働くパパより高くなっています。「パートタイム勤務ママ」では、「保活に失敗したときに育休を延長できる」が41.7%、「育休からの早期復職制度が会社に整っている」が18.1%で他のママや働くパパより高くなっています。「働くパパ」では、「育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない」が65.2%、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」が56.5%で他のママや働くパパより高くなっています。



資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

⑧2人目の壁を感じるか

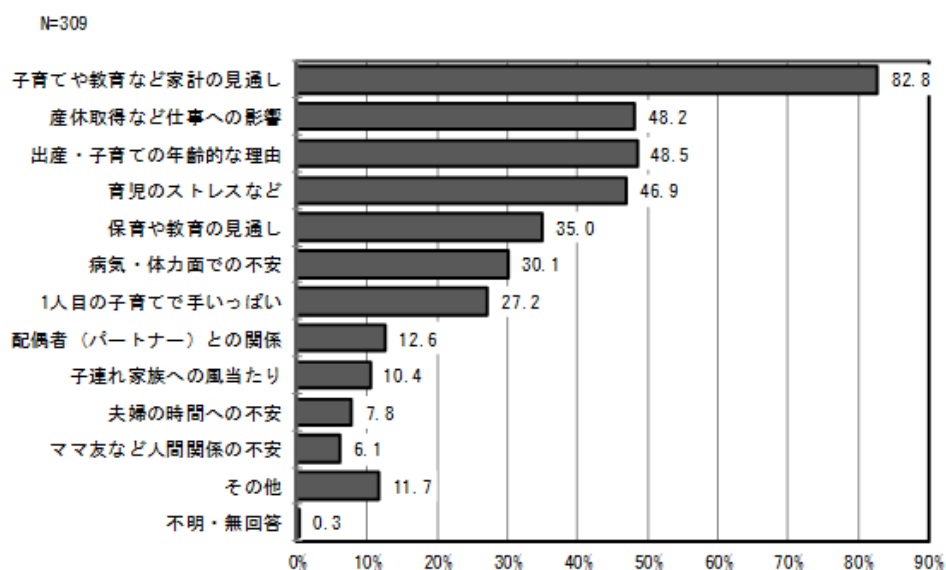
全国調査では、「どちらかといえば、存在すると思う」が 43.1%と最も高く、次いで「存在すると思う」が 31.2%、「どちらかといえば、存在しないと思う」が 17.6%と続いています。佐世保市では、「存在すると思う」が 52.5%と最も高く、「どちらかといえば、存在すると思う」が 27.4%、「どちらかといえば、存在しないと思う」が 11.8%と続いています。



資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

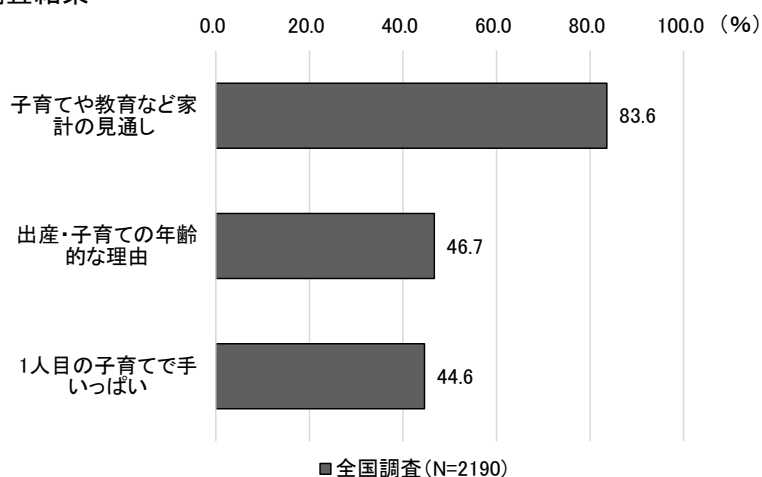
⑨2人目の壁を感じる理由

全国調査では、「子育てや教育など家計の見通し」が 83.6%と突出しており、次いで「出産・子育ての年齢的な理由」が 46.7%、「1人目の子育てで手いっぱい」が 44.6%となっています。佐世保市では、「子育てや教育など家計の見通し」が82.8%と突出しています。次いで「出産・子育ての年齢的な理由」が48.5%、「産休取得など仕事への影響」が 48.2%となっており、「産休取得など仕事への影響」については全国よりも高い割合となっています。



資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

○全国調査結果

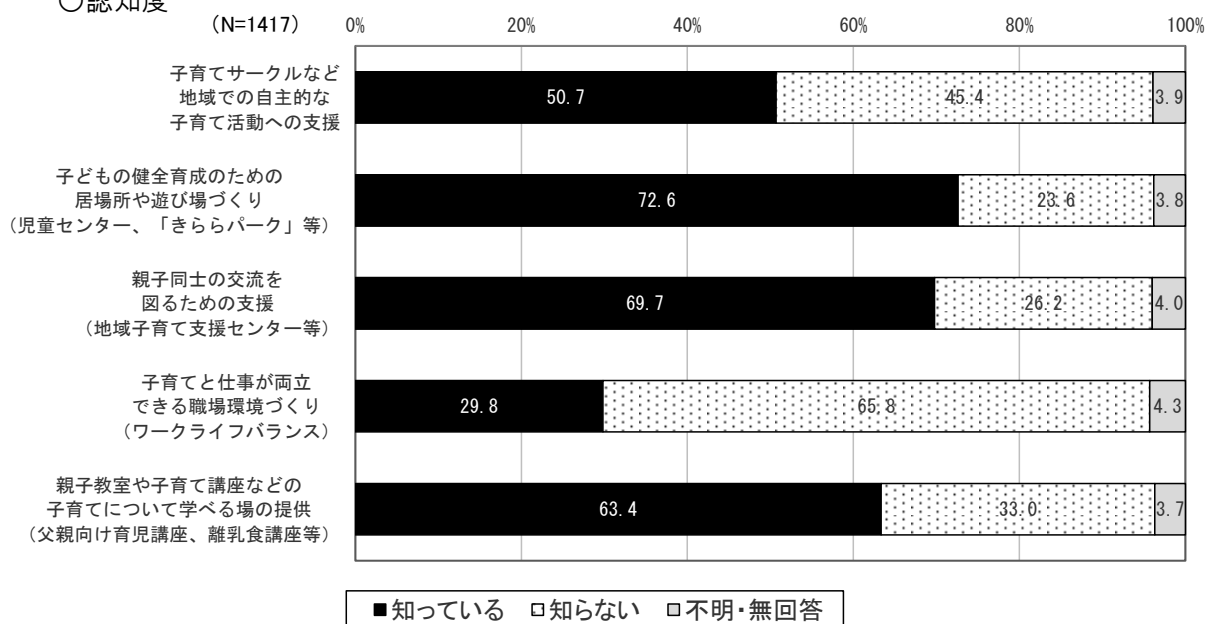


資料：夫婦の出産意識調査 2018（全国調査）

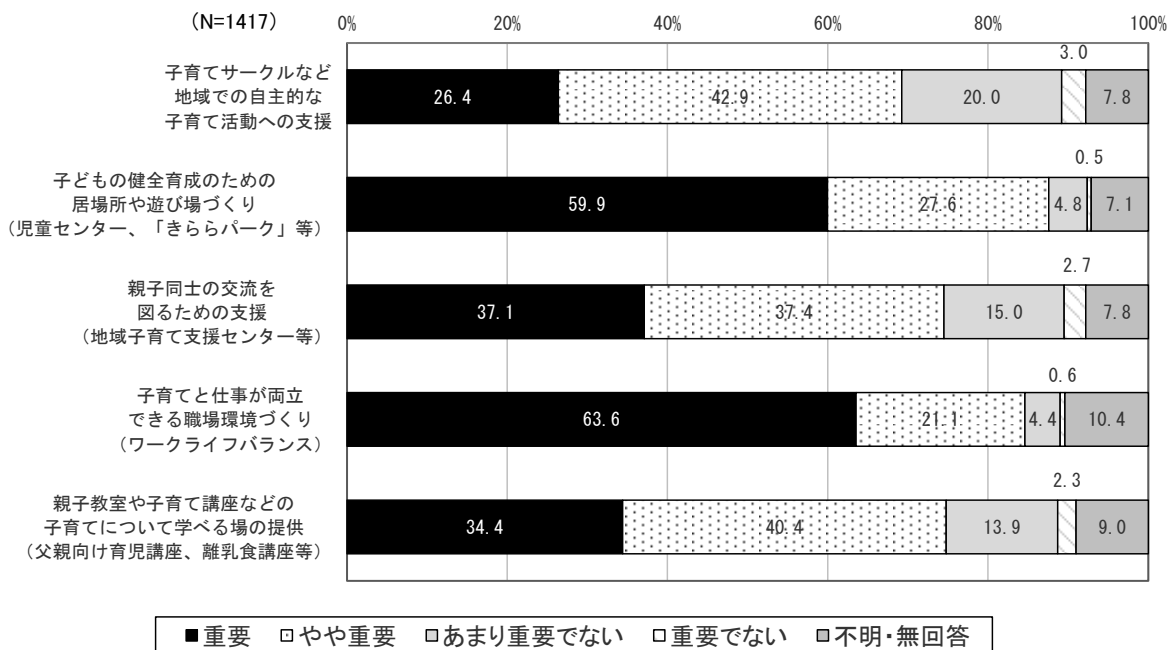
⑩地域での子どもと子育ての支援に関する佐世保市の取り組みの認知度・重要度・満足度

認知度についてみると、「子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)」において「知っている」の割合が低くなっています。重要度についてみると、「子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり(児童センター、「きららパーク」等)」、「子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)」において「重要」の割合が高くなっています。満足度についてみると、「子育てと仕事が両立できる職場環境づくり(ワークライフバランス)」において「満足」の割合が最も低くなっており、同時に「不満」の割合も最も高くなっています。

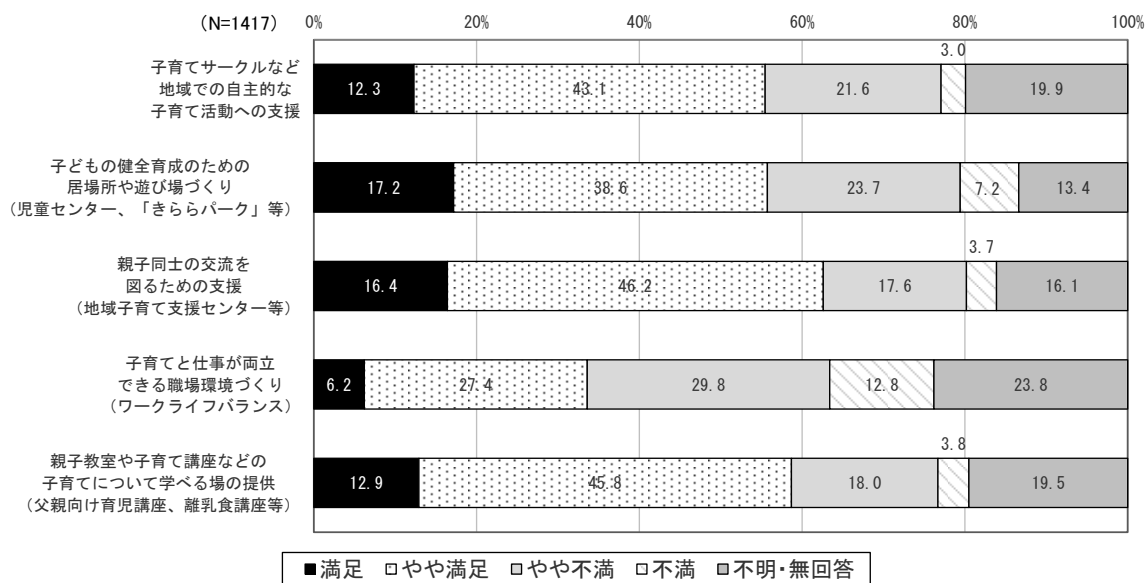
○認知度



○重要度



○満足度

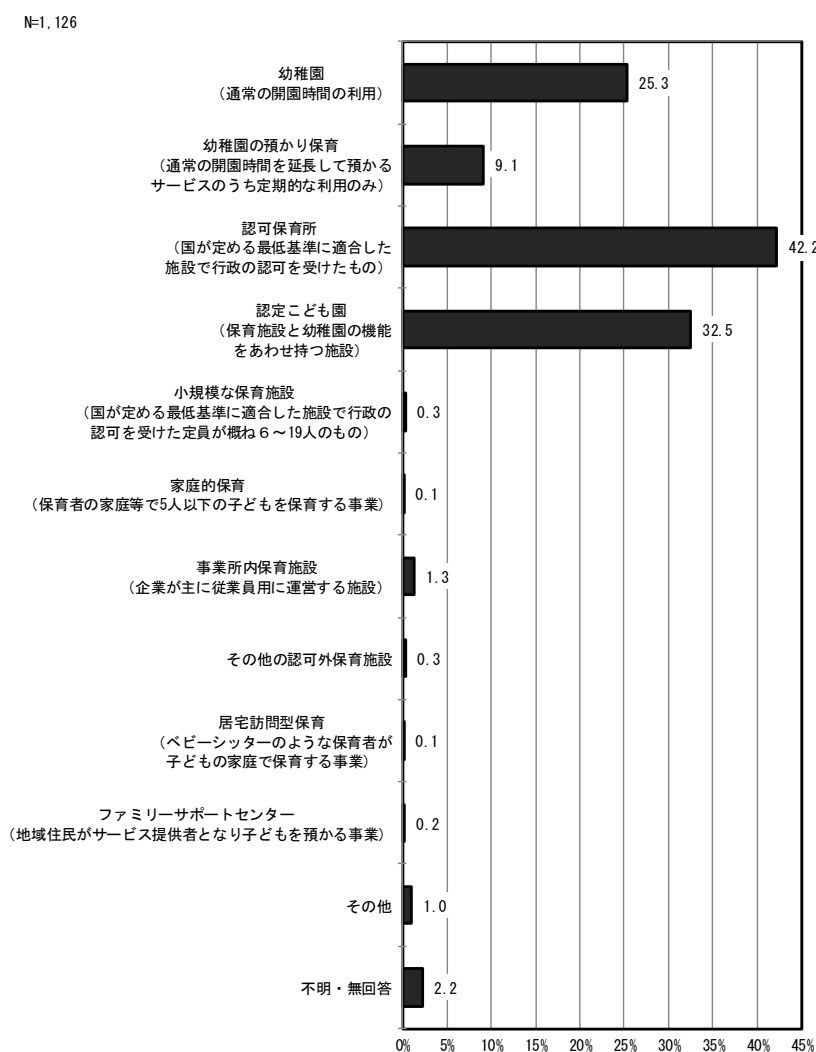


資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

3 幼児教育・保育の充実について

①定期的に利用している施設

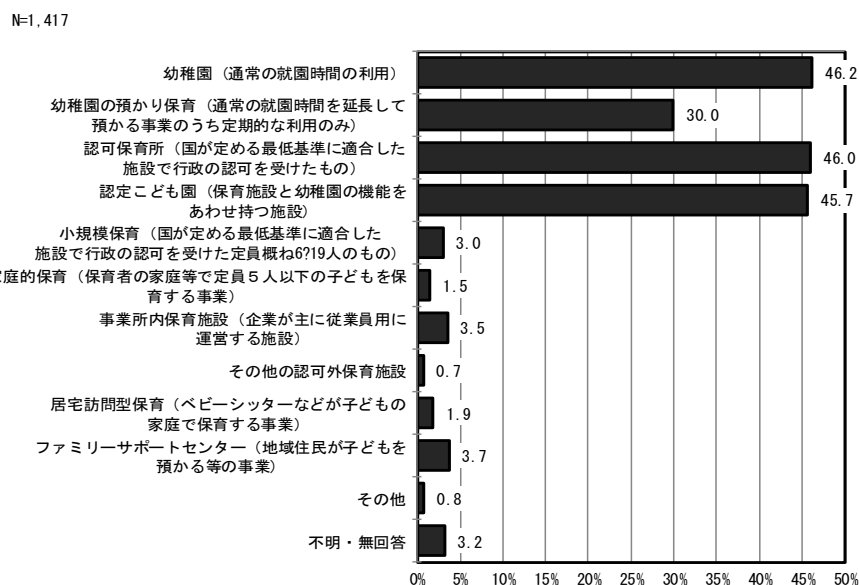
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で行政の認可を受けたもの）が 42.2%で最も高くなっています。次いで「認定こども園（保育施設と幼稚園の機能をあわせ持つ施設）」が 32.5%、「幼稚園（通常の開園時間の利用）」が 25.3%で続いています。



資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

②今後、無償化の影響を踏まえたうえで定期的にご利用したいと考える施設

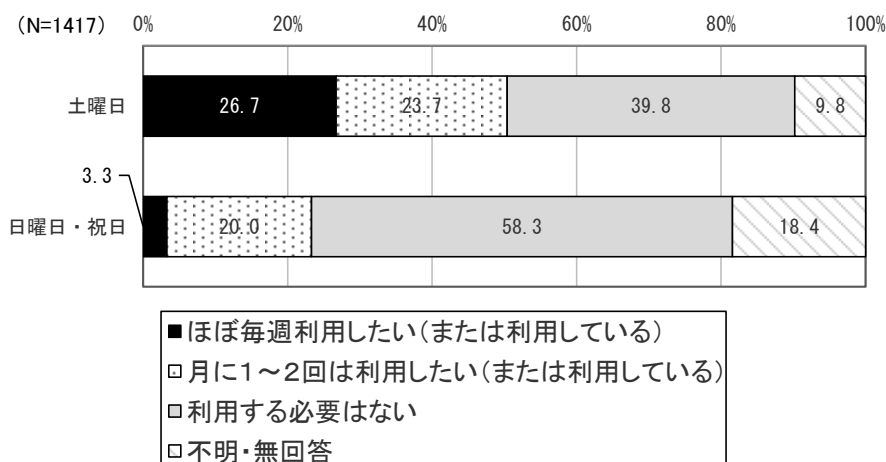
「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 46.2%で最も高くなっています。次いで「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で行政の認可を受けたもの)」が 46.0%、「認定こども園(保育施設と幼稚園の機能をあわせ持つ施設)」が 45.7%で続いています。



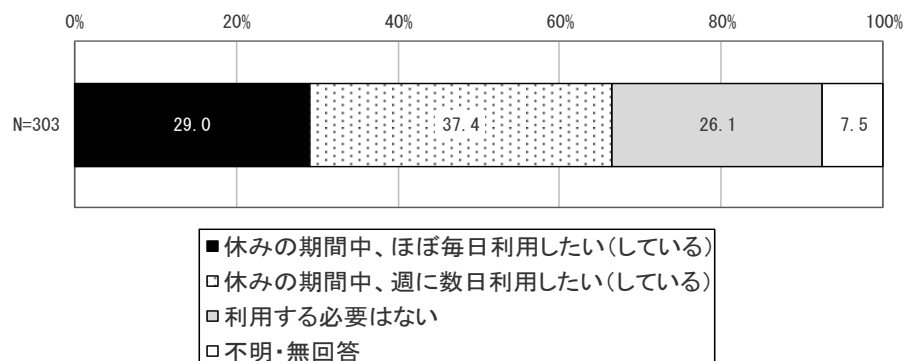
資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

③土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の利用希望

土曜日についてみると、「ほぼ毎週利用したい(または利用している)」が 26.7%、「月に1～2回は利用したい(または利用している)」が 23.7%となっています。日曜日についてみると、「ほぼ毎週利用したい(または利用している)」が 3.3%、「月に1～2回は利用したい(または利用している)」が 20.0%となっています。



幼稚園利用者の長期休暇中の利用希望をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい(している)」が37.4%で最も高くなっています。次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(している)」が29.0%、「利用する必要はない」が26.1%が続いています。

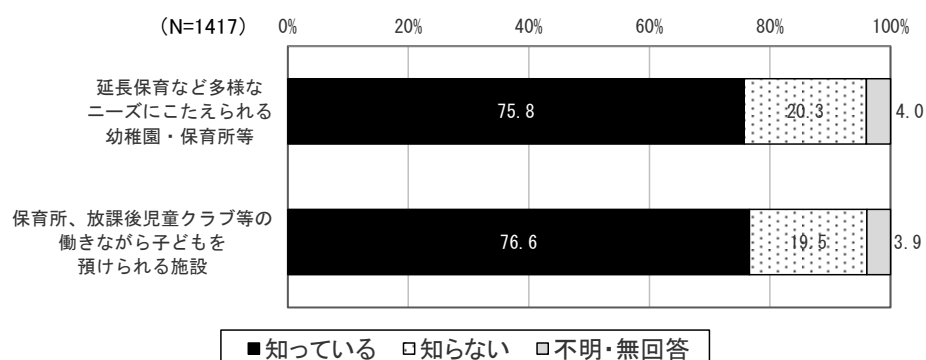


資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

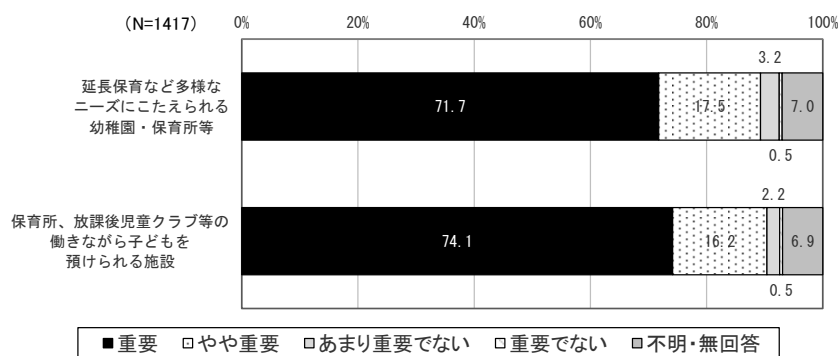
④幼児教育・保育に関する佐世保市の取り組みの認知度・重要度・満足度

認知度についてみると、「延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等」、「保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設」とともに「知っている」の割合が高くなっています。重要度についてみても、「延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等」、「保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設」とともに「重要」の割合が高くなっています。満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合計した割合は「延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等」で62.8%、「保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設」で53.0%となっています。「やや不満」と「不満」を合計した割合は「延長保育など多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等」で22.7%、「保育所、放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けられる施設」で32.2%となっています。

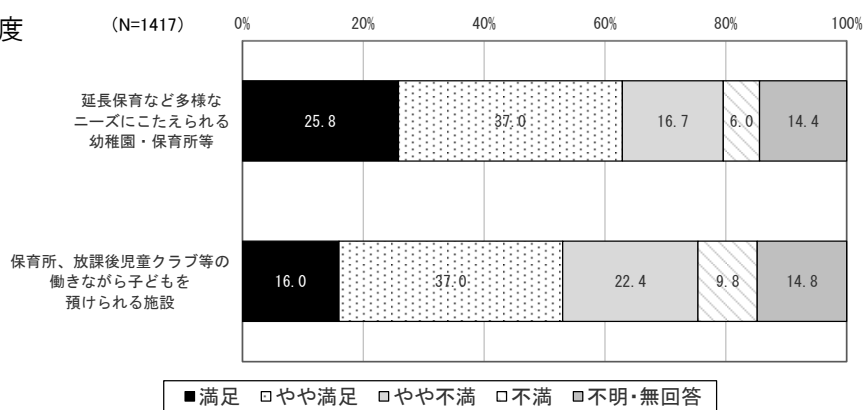
○認知度



○重要度



○満足度



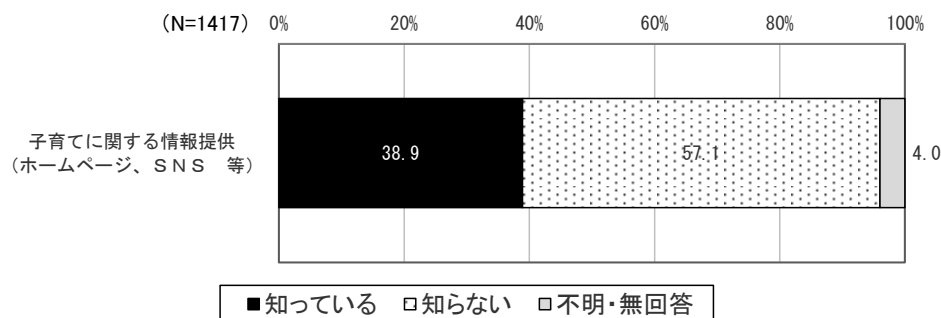
資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

4 包括的サポート（情報発信）について

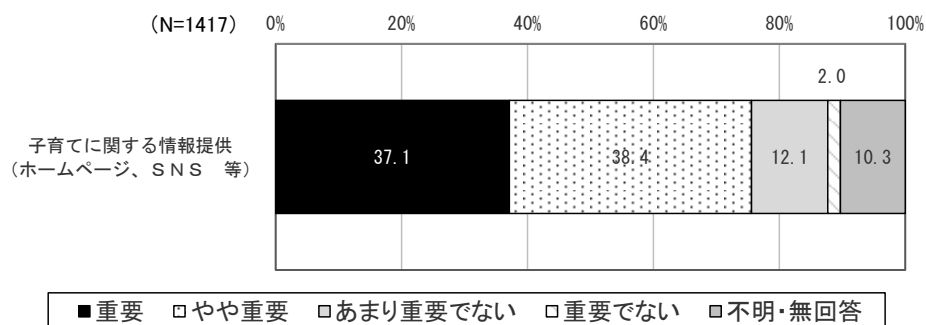
①子育ての情報提供に関する佐世保市の取り組みの認知度・重要度・満足度

認知度についてみると、「知っている」が 38.9%、「知らない」が 57.1%となっています。重要度についてみると、「重要」と「やや重要」で合わせて 75.5%となっています。満足度についてみると、「満足」と「やや満足」で合わせて 46.0%、「やや不満」と「不満」で合わせて 29.6%となっています。

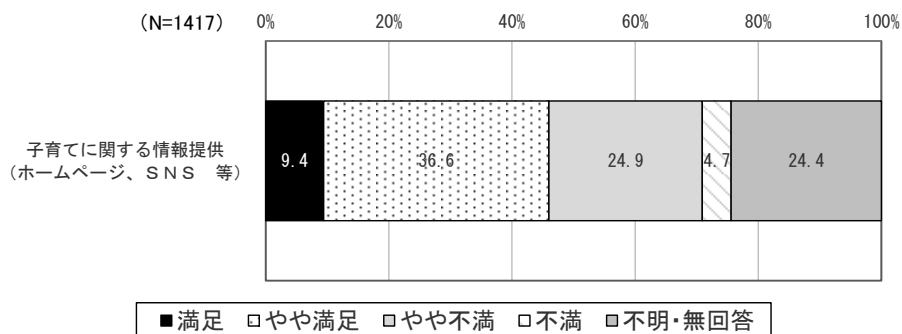
○認知度



○重要度



○満足度

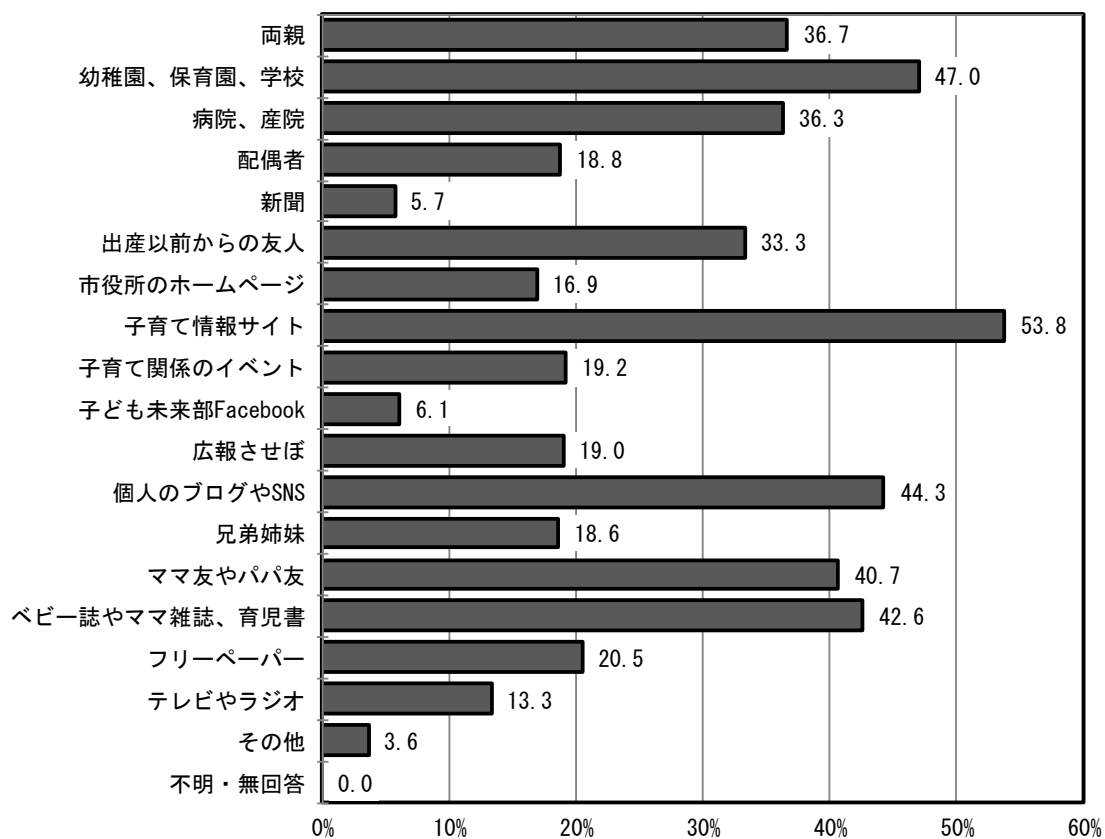


資料：子ども・子育て支援に関するアンケート結果

②出産・育児について情報を知りたいときに頼りにしている(頼りになった)もの

「市役所のホームページ」は 16.9%、「子育て情報サイト」は 53.8%、「子ども未来部 Facebook」は 6.1%、「広報させぼ」は 19.0%となっています。

N=474



資料：子どもと子育てに関する市民意識調査結果

■ 各施策を横断する主な課題について

各種アンケート調査結果に関し、その概要を踏まえたうえで、プラン骨子案の各施策を横断して関連づけられる主な課題として、次のような要素が挙げられ、今後、施策間での連携や取組みの重点化を通じ、施策を講じていくことが求められるものと想定されます。

○横断的な要素

○子どもの心身の安全確保

○ワークライフバランスの推進

○地域での子どもの居場所づくり

○市民目線での子育て情報発信

